

斎藤文夫市長 就任あいさつ



❖
❖
❖

私は、先の市長選挙におきまして、市民の皆様方の温かいご支援と、各方面よりの力強いご支持を賜り、新生「日光市」の初代市長に就任させていただきました。多くの皆様方から賜りましたご支援、ご厚情に對しまして、心より厚くお礼を申し上げます。

日本国内はもとより、世界にその名を知られる日光市の舵取り役を任せられました責務は大変重大であり、身の引き締まる思いであります。グローバル化が進み、変化の激しいこの時代に的確に対応し、市民の皆様「合併してよかった」と、心から思っていたことが出来ますよう、全力で市政経営に取り組んでまいれる覚悟であります。皆様方のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

3月20日に新たなスタートを切りました日光市ですが、五つの市町村による合併だけに、何よりも大切なのは、「早期の一体感の醸成」と「各地域の均衡ある振興・発展」であると考えております。私はこれまで、今回の合併を、「握力の合併」と言っておりまして、手の五本の指、一本一本の力は弱くても、ぐっと握り締めれば強い拳になります。新市となりました私たち五つの地域も、互いを信じ、ぐっと力をこめて協力しあうことで、強い力の一体感が生まれ、バランスのとれた元気な日光市になっていくと固く信じています。

私は、これまで、一貫して、「まちづくりの主役は市民（あなた）です」、「市民の皆様が仕える事が私の仕事です」、この二つを市政経営の基本理念として、「市民が主役のまちづくり」を進めてまいりました。これは、一人ひとりの人間を大切にすること、一人ひとりの市民を大事にすることが出来るような人と人との心が通い合う地域社会づくりを目指しているものです。

この思いは、日光市長になりましても変わることはない私自身の根幹であり、むしろ、これまで以上に、「市民が主役」であることを深く胸に刻み、市民の皆様のために仕事をさせていただきたいと存じます。どうか市民の皆様には、機会、形態、方法はいろいろ考えられますが、自立した市民として、多様な分野で積極的に市政にご参画いただきますようお願い申し上げます。

日光市は、岐阜県高山市、静岡県浜松市に次いで、全国で3番目に広い面積を持つ市になりました。これからは、広さだけでなく、まちの魅力、まちの活力、そしてまちづくりの中身において、他市町村の先駆けとなれるよう努力していかねばなりません。「市民が主役のまちづくり」を推し進めることにより、日光市と日光市民の持つポテンシャルを最大限に引き出し、有効に活用することが私の使命であります。